

## 感謝状贈呈式

榊山教育振興会が寄附

財団法人榊山教育振興会から、大洲市の教育振興に役立ててほしいと1億円を寄附していただきました。

7月22日(金)の感謝状贈呈式には、当財団から榊山寛理事長、榊田興一理事、山本慶一事務局長の3人が出席され、清水市長から榊山理事長に感謝状を贈呈しました。

当財団からは従来、市立図書館への図書や市立博物館への資料の寄贈、また、青少年海外派遣事業、ジュニアトライアスロン大会や音楽祭などへ毎年約700万円の助成をいただいています。

今回の寄附金は、今後、大洲市教育振興のため「大洲市教育振興基金」に積み立て、教育施設の耐震化による安全・安心な教育、学習環境の整備充実および太陽光発電や照明のLED化などによる省エネルギー対策に活用していきます。



## 大震災からの復興に向けて支援を続けています

3月11日の東日本大震災がもたらした惨禍から5か月余り、復興へ向けての歩みが始まりましたが、被災地では、今なお多くの人たちが避難所生活を余儀なくされています。その復旧のために、国や地元自治体の活動だけではなく、日本中の自治体から人的な支援が続けられています。

大洲市でも、市職員を被災地に派遣し、災害復興のための支援を続けています。

水害など自然災害と無縁とはいえない大洲市にとって、こうした活動が復旧への支援の支えにとどまるだけではなく、被災状況を実際に見て、被災された人たちから直接お話を聞かせていただくからこそ、市職員として大切な経験だと考えているからです。

派遣状況は次のとおりです。

- ・ 4月9日～14日  
脇坂 剛 (保険環境課)
- ・ 5月4日～12日  
西隅 友博 (建設課)
- ・ 5月8日～14日  
白石 美月 (保健センター)
- ・ 6月19日～27日  
金澤 功 (水道課)
- ・ 7月24日～8月5日  
大野 由美 (長浜支所地域振興課)
- 富永 太一 (税務課)
- 和氣 敏典 (税務課)



市では、業務改善などの提案や勤務実績が認められる職員を表彰することにより、職員の職務に対する意識を高め、市民サービスの向上を目指しており、今回、派遣した職員も余震が続く困難な環境での積極的な業務遂行を果たしたことから表彰の対象としています。

- ・ 7月28日～9月3日  
村上 一郎 (都市整備課)
- ・ 8月21日～26日  
城戸 千年 (高齢福祉課)
- ・ 8月29日～9月10日 (予定)  
浜上 幸治 (税務課)

春の叙勲

旭日双光章を受章



三浦 賢 さん  
(田処)  
現四国簡易郵便局連合会会長

三浦さんは、長年にわたり簡易郵便局受託業務にご尽力されたご功績により、このたび旭日双光章を受章されました。

瑞宝単光章を受章



松本 意思男 さん  
(河辺町植松)  
元河辺村消防団団長

松本さんは、長年にわたり消防業務にご尽力されたご功績により、このたび瑞宝単光章を受章されました。

『大洲喜多休日夜間急患センター』が  
12月1日にオープンします

大洲喜多地域には、初期救急を受け入れる施設がなく、二次救急医療機関がその全てに対応していません。このたび、休日・夜間に対応する急患センターを設置して、軽症患者の診察を行い、二次救急医療機関の負担軽減と救急医療体制の整備を図ります。

【診療時間】

平日・土曜 午後8時～11時

日曜・祝日 午前9時～午後6時

【診療科目】

内科

(その他の科目は診療できません。)

【診療場所】

大洲市東大洲88番地1

【運営管理】

社団法人 喜多医師会

【問い合わせ先】

オープンまでは大洲市保健センター

☎0310



〔完成予想図〕

7 / 11(月)

ふるさとを美しく！ ～クリーン河辺運動～

河辺小学校でクリーン河辺運動が実施されました。全校児童が5つの班に分かれ、道路のゴミ拾いとガードレール磨きを行いました。

ゴミ拾い担当の2班は学校から二手に分かれ、往復2kmの道を歩きながらゴミを拾いました。子どもたちはゴミを見逃さないように、草や落ち葉の間などもしっかり見てゴミを拾い、きちんと分別してゴミ袋に入れていました。タバコの吸い殻やお菓子の袋、空き缶などで、用意していたゴミ袋は一杯になりました。

ガードレール磨き担当の班は、学校周辺のガードレールをタワシやスポンジを使って丁寧に磨きました。どろやこけで汚れていたガードレールは、最後に水を流すと真っ白になりました。

とても蒸し暑い1日でしたが、児童は熱心に活動し、地域をきれいにできたことに満足していました。



小さなゴミも見逃しません！

大いに盛り上がりました!! ～2011年 道の駅「清流の里ひじかわ」夜市～

7 / 16(土)



夜市で賑わう来場者のみなさん

道の駅「清流の里ひじかわ」で毎年恒例の夜市が開催されました。

道の駅駐車場の一部を利用して、ステージやビアガーデン会場を設け、その会場の周りには多くの出店が立ち並びました。

この日は晴天で、朝からとても暑い日となりましたが、午後1時からスタートした子ども向けのゲームコーナーや午後5時からのビアガーデンは多くの来場者で賑わい、またステージ上で行われたアマチュアバンドの演奏やヒップホップダンスの華麗さに、会場は大変な盛り上がりを見せていました。

お食事券に付いていた抽選番号を使っての「お楽しみ抽選会」では、景品の当選番号が呼ばれる度に大きな歓声が起こり、当選した人は嬉しそうに景品を受け取っていました。

道の駅「清流の里ひじかわ」夜市は来年も開催する予定です。みなさん、ぜひ参加してみませんか？

7 / 24(日)

小さな鉄人の熱い戦い ～第17回 大洲ジュニアトライアスロン大会～

第17回ジュニアトライアスロン大会が肱川と緑地公園を舞台に行われ、県内外から117人が参加しました。

今回は初めての試みとして、大会に参加する児童、生徒の保護者に参加を呼びかけ、保護者の部を設けた結果、4人の参加がありました。

あいさつで清水市長は、「体力をつけて頑張ったら、必ず成果は表れます。肱川という自然に触れながら、昨年より今年、今年より来年に記録を伸ばすことができるよう、頑張ってください」と選手を激励しました。

当日の天気は快晴で、気温は36度まで上昇しました。厳しいコンディションの中、観客からの熱い声援を受け、選手たちは自らの限界に挑戦していました。

力を出し切って次々とゴールする選手たちの表情は、みな苦しうでしたが、達成感であふれていました。



バイクで疾走！

7 / 30(土)~  
8 / 1(月)

## 米子市からのお客様

～郷土の歴史教室「よなご・おおす歴史探検隊」～

大洲藩の初代藩主、加藤貞泰公が1617年に米子から大洲に移封した縁で、平成14年から交流を行っている米子市から、16人の小学生が大洲市を訪れました。これは、米子市の米子錦ライオンズクラブと山陰歴史館が主催する「郷土の歴史教室」という企画で行われたもので、1日目には市立博物館や大洲城、至徳堂で両市のつながりなどを勉強し、2日目には明治の家並み散策や思ひ出倉庫、ポコペン横丁などを見学しました。臥龍山荘ではガイドの質問を交えた楽しい説明に熱心に耳を傾け、積極的に発言している様子がとても印象的でした。また、初めて体験する人力車では、たくさんの笑顔が見られました。



人力車体験

## 親子の絆を再確認！ ～親子ふれあい広場～

7 / 31(日)



真剣な表情でコースター作りに励む参加者

今坊地区青少年健全育成推進協議会と今坊友愛館の主催による「親子ふれあい広場」がしおさい館で開催されました。今坊地区在住の小・中・高校生親子に参加を呼びかけたところ、当日は51人が参加しました。

親子で押し花を使ったコースター作り、人権ビデオ（アニメーション）鑑賞、お昼には参加者全員でバーベキューを行いました。

「夏休みの宿題が一つできた」「暑かったけど、楽しかった」という感想も多く聞かれ、夏休みに親子でふれあう楽しい1日となりました。

7 / 31(日)

## 水上の格闘レース ～第16回ドラゴンボート大会～

肱川の鹿野川ダム湖で、毎年恒例の第16回ドラゴンボート大会が開催されました。

今年の大会には、県内の企業、団体などから40チーム、443人の参加がありました。レースは往復450mのコースを2回漕ぎ、タイムで順位を競います。選手らは太鼓の伴奏にあわせて、必死にパドルを漕いでいました。

予選ではボート同士が接触したり、ブイのロープに舵が引っ掛かるなどのアクシデントもありましたが、事故などはなく無事レースは成立しました。

予選タイムの上位4チームにより決勝レースが行われ、「みつぐファミリーまりも会」が見事、優勝の栄冠を手に入れました。

この日は日差しの強い真夏日となりましたが、時折吹く風が心地よく、選手たちはレースを観戦したり、木陰で休んだりと思い思いに夏の1日を楽しんでいました。



息を合わせてパドルを漕ぐ選手たち